

天皇杯 第24回都道府県対抗男子駅伝競走大会
皇后杯 第37回都道府県対抗女子駅伝競走大会
選手選考基準要項

(一財) 富山陸上競技協会 強化部

1 出場条件

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

(1) 出場資格

①競技者は、日本陸上競技連盟の平成30年度登録者で、平成17年(2005年)4月1日以前に生まれた日本国籍を有する男子競技者であること。

但し、在留外国人競技者のうち日本で生まれ、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者は出場できる。

②社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。

なお、出身中学校と出身高等学校県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校のどちらの所在地都道府県からも出場することができる。

(2) チーム編成

①チームは監督1名、コーチ2名、競技者10名の合計13名とする。

②競技者にはジュニアA 3名以上、ジュニアB 2名以上が含まれること。

〈注〉●ジュニアAとは2000年4月2日～2003年4月1日に生まれた競技者をいう。

●ジュニアBとは2003年4月2日～2004年4月1日に生まれた競技者をいう。

(中学1年生は出場できない)

※ジュニアAおよびBの競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。

(3) 競技規定

①第2・6区はジュニアB競技者を、第1・4・5区はジュニアA競技者を、第3・7区は社会人(大学生を含む)競技者を起用することとする。また、ふるさと競技者は1区間以内とする。

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

(1) 出場資格

- ①競技者は、日本陸上競技連盟の2017年度登録者で、2005年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する女子競技者であること。
ただし、外国籍者のうち日本で生まれ育った者で、引き続き現在も日本国内に生活の拠点を有する者はこの限りではない。
- ②社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。
なお、出身中学校と出身高等学校県が異なる場合は、出身中学校もしくは出身高等学校のどちらの所在地都道府県からも出場することができる。
(これを「ふるさと競技者」と呼ぶ)

(2) チーム編成

- ①チームは監督1名、コーチ2名、競技者13名の合計16名とする。
 - ②競技者にはジュニアA 4名以上、ジュニアB 3名以上が含まれること。
- 〈注〉 ●ジュニアAとは2000年4月2日～2003年4月1日に生まれた競技者をいう。
●ジュニアBとは2003年4月2日～2005年4月1日に生まれた競技者をいう。
(中学1年生は出場できない)
- ※ジュニアA・Bの競技者は保護者の出場承諾書を必要とする。承諾書は全国女子駅伝事務局に送付すること。

(3) 競技規定

- ①競技者の起用については、第3・8区にジュニアB競技者を、その他の区間にジュニアA競技者を最低3名起用すること。また、「ふるさと競技者」は2区間以内とする。

2 選考競技会

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○富山カップ陸上大会 | ○ジュニアオリンピック陸上競技大会 |
| ○富山県陸上競技選手権大会 | ○富山県高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○国民体育大会第3次選考記録会 | ○北信越高等学校陸上競技対抗選手権大会 |
| ○富山県民体育大会第一部 | ○全国高等学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○各地区学生陸上競技対校選手権大会 | ○富山県中学校陸上競技選手権大会 |
| ○日本陸上競技選手権大会 | ○北信越中学校陸上競技選手権大会 |
| ○国民体育大会 | ○全国中学校陸上競技対校選手権大会 |
| ○各地区実業団陸上競技選手権大会 | ○日本学生陸上競技対校選手権大会 |
| ○富山県中学校通信陸上競技大会 | ○全日本実業団陸上競技大会 |
| ○全国高等専門学校体育大会 | ○日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会 |
| ○北信越高等学校新人陸上競技大会 | ○各種公式競技会・記録会 |

※選考競技会の羅列は、優先順位を表すものではないが、ジュニアB(中学生)選手は、原則として10月27日(土)におこなわれる選考記録会に出場する。

3 選手選出基準

- ①富山県代表選手として心身共に健全な選手を選考する。
- ②一般・ジュニアA(高校生)選手
 - ・対象種目を、女子は3000m以上、男子は5000m以上のトラック種目とする。
 - ・選考競技会の結果及び最高記録を参考に、強化部で総合的に判断し選考する。
- ③ジュニアB(中学生)選手
 - ・対象種目を、女子は1500m以上、男子は3000m以上のトラック種目とする。
 - ・選考競技会の結果及び最高記録を参考に、強化部で総合的に判断し選考する。
- ④富山県代表選手として相応しくない選手は選考しない。

※ジュニアB(中学生)選手は、男女共に4名を都道府県対抗駅伝の富山県代表選手として、大会及び強化合宿に派遣する。このうち大会登録選手は、男女各3名とし、各1名はリザーブ選手とする。リザーブ選手については、大会登録選手が疾病や怪我により、出場が困難な場合にのみ、登録変更をし、大会に出場することができる。

4 選手選考

原案を強化部で練り、(一財)富山陸上競技協会国体選手選考委員会会議後、(一財)富山陸上競技協会理事会を経て、正式決定となる。正式決定後、所属長または本人宛に内定通知を行う。辞退する者は速やかに申し出ること。

5 確認事項

- ①内定後は、都道府県対抗駅伝競走大会を最重要大会として本大会に向け調整すること。
- ②県内の選手は、強化部が主催する練習会及び合宿に必ず参加すること。
参加しない選手は、内定を取り消す場合もある。
- ③本大会まで故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は、内定を取り消す場合もある。
- ④選考基準記録の有効期間は、2018年1月1日から選考競技会から11月24日(土)までの最終記録会までとする。